

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第2回茨木市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和3年10月19日(火) 午後2時00分 開会・午後4時10分 閉会
開催場所	茨木市役所 南館8階 特別会議室
会長	小幡 範雄
出席者	小幡 範雄、金子 泰純、高山 美枝、大西 稔、木原 妙子、松本 和久、横山 賢一、森川 孝子、中井 猛夫、竹原 篤子、矢野 正、村上 誠 (12人)
欠席者	0人
傍聴人	0人
市	福岡市長、吉田産業環境部長、村上資源循環課長、千品資源循環課課長代理兼計画係長、吉岡環境政策課参事兼検査係長、中村環境事業課長、上村環境事業課参事兼環境衛生センター所長、九鬼環境事業課課長代理兼業務係長、吉村下水道施設課課長代理兼計画係長、津野下水道施設課職員、上田資源循環課職員、西谷資源循環課職員 (12人)
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会議の成立・議事の公開 3 市長あいさつ 4 一般廃棄物処理基本計画の諮問 5 議題 一般廃棄物処理基本計画の素案について 6 その他 7 閉会

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
	2 会議の成立・議事の公開
事務局	令和3年度第1回会議で決定したとおり、会議は公開とする。なお、今回傍聴者はいない。 これからの議事は、会長に議長を務めていただく。
議 長	まず出席状況について、事務局より報告をお願いします。
事務局	審議会委員の出席状況は総数12名のうち出席12名という状況である。
議 長	過半数の委員が出席しているので規則により会議は成立している。
	3 市長挨拶
	4 一般廃棄物処理基本計画の諮問
	(福岡市長より会長へ茨木市一般廃棄物処理基本計画(素案)を諮問)
議 長	ただいま諮問のあった茨木市一般廃棄物処理基本計画の素案について、今後、当審議会において審議することとする。 (福岡市長は公務のため、退席)
	5 一般廃棄物処理基本計画の素案について
議 長	議題について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【議題「茨木市一般廃棄物処理基本計画の素案について」の資料説明】
議 長	議題について、本日は第3章のごみ処理基本計画まで審議することとする。 まず、第1章「基本的事項」と第2章「茨木市の概要について」は、前回の計画と大きな変更がないため、一括して審議する。何か意見等はあるか。
A委員	4ページの図1-1について、「茨木市一般廃棄物処理実施計画」と「茨木市災害廃棄物処理計画」が「茨木市一般廃棄物処理基本計画」の下に紐づく図になっているのはおかしい。

事務局	修正する。
A委員	文字が小さくて読みづらいところがある。例えば、9ページや10ページの図表の文字などが読みにくい。
事務局	修正する。
B委員	1ページ目の「計画策定の趣旨」に、2ページや3ページに書いているような環境負荷軽減に関する基本的な話が書かれていないため、分かりにくく読みにくい。
議長	異常気象やSDGs等の現状に対する評価を入れることはできるか。事務局の意見はどうか。
事務局	現状に対する評価は、ごみ処理基本計画や食品ロス削減計画でも述べることになるので、できるだけ記載内容が重複しないようにしている。
B委員	CO2の削減等は重要な話であるため、長々と記載する必要はないが、一番初めに触れてもらえればよいと思う。
議長	冒頭で、サーキュラーエコノミー等の言葉だけでも触れて記載するのでどうか。
事務局	できるだけ記載内容が重複しないように冒頭に記載する。
A委員	2ページ、3ページでサーキュラーエコノミーや脱炭素社会の実現等に関する説明があるにもかかわらず、1ページの「計画策定の趣旨」ではSDGsしか記載がない。1ページのSDGsを記載している所にサーキュラーエコノミーや脱炭素社会の実現、廃プラスチックに関する記載が欲しい。
議長	そのように事務局に修正をお願いする。 他に何か意見はあるか。なければ次に移る。第3章は分量が多いため、3つに分けて議論する。まず、18ページから46ページについて意見はあるか。
A委員	18ページの上から5行目に、「平成30年度（2018年度）には、「資源物とごみの分け方と出し方リーフレット」の多言語版（英語・中国語・韓国語版）を発行し、」とあるが、表3-4では、日付を令和3年（2021年）3月と記載している。これはどうということか。

事務局	平成 30 年度（2018 年度）に初めて発行し、改訂版が令和 3 年（2021 年）3 月という意味である。
A 委員	その違いが分かるように書いていただきたい。
議 長	改訂と分かるように事務局に修正をお願いする。
A 委員	21 ページの集団回収の「表 3-9 報奨金制度の概要」にある「報奨金額」の文章が分かりにくい。分かりやすく書いていただきたい。
事務局	修正する。
B 委員	23 ページにある宅配回収について、市民は 1 箱分が無料になるとあるが、1 箱のサイズに制限はあるのか。
事務局	制限はある。
B 委員	同じ 23 ページのスマイル収集について、制度を受けるにあたって要件等はないのか。訪問看護ステーションやヘルパー等との情報共有はないのか。
事務局	対象要件はある。例えば、65 歳以上で要介護 3 以上、身体障害者手帳 1 級又は 2 級、療育手帳 A、精神障害者保健福祉手帳 1 級の方などの条件がある。
B 委員	収集は委託か市の直営かどちらで行っているのか。
事務局	市の直営で行っている。一定の要件を定めて合致する方を対象としているが、今後高齢化に伴い、結果として、このようなごみ出し支援が必要な方は増えると考えている。
事務局	補足として、スマイル収集はケースワーカー等の関係者と連携しながら行っている。
A 委員	24 ページで家庭系ごみ量が、「令和元年度と令和 2 年度を除いて減少傾向を示している。」とあるが、推定できるのであれば、増加した要因に触れなければならないのではないか。同様に 25 ページの事業系ごみ量も「平成 30 年度と令和元年度にかけて増加に転じている。」とあるが、こちらも推定できるのであれば、増加した要因に触れなければならないのではないか。

事務局	<p>家庭系ごみ量については、はっきりとした増加要因はつかめていない。事業系ごみ量についても、平成 29 年度までの減少や、令和 2 年度の減少の要因については記載しているが、平成 30 年度と令和元年度の増加については、同じくはっきりとした要因はつかめていない。</p>
議 長	<p>色々な原因があり難しいと思うが、増加について推定できる要因はないのか。</p>
A 委員	<p>例えば表 3-14 の注釈に、災害ごみを除く旨記載があるが、災害ごみは必ずしも平成 30 年度だけに排出されるものでなく、次年度以降に排出されている可能性がある。</p>
議 長	<p>推定の段階では計画に記載しにくいと、はっきりとした要因が分かるのであれば記載する形でどうか。</p>
A 委員	<p>令和 2 年度については、24 ページと 25 ページではっきりと新型コロナウイルスが要因であると記載しているのにも関わらず、それ以外の年度について増加要因の記載が何もないのは苦しい。</p>
C 委員	<p>断捨離ブームがあったことも増加した要因ではないか。また、平成 30 年度の地震の時は、修繕業者がなかなか捕まらず、実際に修繕が始まったのは 1 年、2 年先のこともあったため、やはりその影響はあったのではないかと考える。</p>
議 長	<p>事務局の意見はどうか。</p>
事務局	<p>増加要因を推定では記載づらかったため、記載はしなかった。新型コロナウイルスについては、事業所訪問等によって、ある程度の実感があったため、要因として記載した。これらの記載内容をバランスよく整えることを検討する。</p>
事務局	<p>A 委員と C 委員のおっしゃるとおり、災害ごみが翌年度以降に出されたことが要因としてあったと考えられる。平成 30 年度のみ、災害ごみに関する推計を行っているため、翌年度以降に災害ごみを排出された場合は、普通ごみとして量をカウントするため、その中に災害に関係したごみが入っていると推測される。</p> <p>「推定される」との書き方であれば、増加要因も記載可能と考えるので、そのように修正する。</p>
議 長	<p>事務局には、「推定される」「考えられる」との書き方で増加の要因を記載し、新型コロナウイルスの部分については、もう少し完結にまとめて記載するようお願いする。</p>

C委員	<p>概要の2ページでは、「集団回収を実施している団体数は増加傾向にあります。」と記載があるが、計画本編の表では令和2年度が減少しているため、記載がおかしいのではないか。</p>
事務局	<p>21ページの表3-10では、登録した団体数ではなく、報奨金を支払った団体数をあげている。報奨金支払団体数は減少しているが、登録団体数では減少していないため、このような記載になっている。</p>
議長	<p>事務局には、矛盾を感じない記載にするようお願いする。 他に意見はあるか。</p>
B委員	<p>前の計画より分かりやすくなり、良くなっていると思う。33ページに温室効果ガスのことも記載されているのもいいと思う。出前講座でも、分かりやすく、これらのことを反映させて実施して欲しい。 また、将来を担う世代に向けて行う事業にもかかわらず、18ページ等の出前講座の記載が、「申し込みを受け」のような受身の姿勢になっているのは良くないと思う。</p>
議長	<p>市民や子供たちが主役であり、それを行政が支援するような表現に改めるよう事務局にはお願いする。</p>
事務局	<p>小学生対象への環境教育の一環として、より内容を充実させるために、毎年度、環境教育冊子を更新し作成している。作成した環境教育冊子を利用して出前講座を行っている。 また、出前講座は、申し込みは必要であるが、利用について広報を行い、環境教育冊子についても、小学生の指定の学年に配布している。今後も内容は見直し、より充実させていくつもりである。</p>
議長	<p>他に意見はあるか。</p>
D委員	<p>プラスチック削減の取組として、分別収集は是非とも進めてほしい。 27ページ、28ページのごみ質分析結果について、ごみ組成項目に「ビニール」と「合成樹脂」があるが、これはプラスチックのことを言っているのか。</p>
事務局	<p>この組成調査の結果では、「ビニール」と「合成樹脂」はプラスチックの種類うちの1つである。</p>

A委員	33 ページの茨木市の温室効果ガス排出量について、10 万トンが多いのか少ないのかわからない。おそらく他市より多いかと思われるが、その原因の分析が必要ではないか。また、部門ごとに排出量が記載されているが、その内、廃棄物部門とは何のことか。
事務局	お調べして、次回お答えする。
議長	他に意見はあるか。 なければ、次に 47 ページから 62 ページについて審議する。何か意見はあるか。
議長	資源物回収量を目標値から外し、参考値とすることに何か意見はあるか。
A委員	目標値としなかった場合、国や府に報告する際に問題はないのか。
事務局	お調べして、次回お答えする。他市では目標値として設定していないところもあり、特に問題ないと考える。
議長	目標値としない理由は何か。
事務局	以前は多くの量を回収することを目標としていた。しかし、新聞紙や雑誌等の紙の需要自体が減っており、多くの量を回収する目標は、現実とそぐわない。また、資源物量が減っていることが良いことか悪いことかの判断が難しく、目標値としては定めにくい。 ごみと資源物を合わせた量の削減や、合わせた量のうち、資源物の割合を増やすことを目標とする案も検討したが、いずれも目標値として設定が難しく、目標値を持たないこととした。
議長	他に意見はあるか。
A委員	52 ページの最終処分量について、「最終処分量の目標値については、茨木市搬入量からの推計に変更予定」との記載があるため言及しづらいが、摂津市の最終処分量の目標値は把握しているのか。 また、基幹改良工事と令和 5 年度から始まる広域処理による摂津市からのごみ受入が最終処分量にどう影響するか、判断材料がないためわからない。
事務局	摂津市の最終処分量は、摂津市一般廃棄物処理基本計画の中で記載されているかと思われるが、確認は行う。 52 ページでの「最終処分量の目標値については、茨木市搬入量からの推計に変更

	<p>予定」との記載については、今後（令和8年度以降）の計画を見据えて見直しを行う必要性があったため、推計方法は検討が必要であるが、茨木市の目標を定める予定としたものである。</p>
議 長	<p>最終処分量の増加の要因や基幹改良工事がどう目標値に影響するのかわかりにくいため、52 ページにもその表現を記載するのはどうか。</p>
A委員	<p>次回の審議会では、第1章から3章までについて全く審議はしないのか。しないのであれば、今日の審議で色々なことを決めなければならない。</p>
議 長	<p>次回審議会では、第4章食品ロス削減推進計画と第5章生活排水処理基本計画を中心に審議するが、第1章から3章までを審議しないということではない。</p>
事務局	<p>最終処分量の目標値について、正確な数値が分からないため摂津市と茨木市を合わせた量とするのか、推計でもいいので茨木市のみの量とするのか、その方向性についてご審議いただきたい。今回は、その結果を基に算出した目標値について説明させていただく。</p>
議 長	<p>最終処分量の目標値の方向性についてはどうか。</p>
A委員	<p>茨木市の計画であるため、最終処分量の目標値は茨木市のみのものであるべきである。今回の計画の見直しに当たっては、令和元年、2年度の増加要因を解明しなければいけない。また、摂津市のごみを受け入れることによって熔融処理に影響が出る可能性があり、そのことについても検討が必要である。最終処分量については、きちんと推計ができるような形で目標を設定しなければいけないのではないのか。現状、目標値を議論する判断材料がない。</p>
議 長	<p>52 ページの最終処分量には摂津市のものも含まれているのか。</p>
事務局	<p>含まれている。</p>
議 長	<p>最終処分量の目標値は、茨木市の最終処分量についてとし、参考値として茨木市と摂津市を合わせたものにするのか。それとも茨木市と摂津市を合わせたものにするのか。事務局の意見はどうか。</p>
事務局	<p>茨木市のみの目標値がよいと考え、全体の搬入量から按分する方法で考えている。</p>
A委員	<p>それで目標値はきちんと出るのか。</p>

事務局	<p>最終処分量は、搬入量から按分するしかなく、茨木市のみの正確な数値は出ない。</p> <p>按分による推計値を使用することがふさわしくないのであれば、最終処分量の目標値も、資源物と同じように目標値を設定せず、参考値とすることも考えられる。</p> <p>ごみを搬入して溶融処理した量が減れば、最終処分量も減少すると考えられ、家庭系ごみの減量について目標を掲げ、その実績もきちんと出る以上、あえて最終処分量を目標値として設定する必要性も低いとの考えもある。</p> <p>これらの事情から、最終処分量の絶対的な目標値が必要かどうかについても、ご審議いただきたい。</p>
議 長	<p>按分とは人口比で行うのか。</p>
事務局	<p>ごみの搬入量で按分する。</p> <p>しかし、単純に搬入量を按分して最終処分量とし、その正確でない値がごみ施策に影響することが良いのかどうか疑問がある。</p>
議 長	<p>摂津市の分別区分は茨木市より多いのか。</p>
事務局	<p>多い。</p>
議 長	<p>摂津市のごみの方が最終処分量は少なくなるのか。</p>
事務局	<p>それは不明である。</p>
事務局	<p>最終処分量については、平成 30 年度より、バイオマスチップを搬入量に対して 5 %程度を燃料として投入している。そのため平成 30 年度以降の増加は、災害によるものとバイオマスチップが影響していると推測される。39 ページの「最終処分量の増加については原因究明中であるが、」とあるのは、その辺りのことが要因の一つとして考えられる。</p>
議 長	<p>最終処分量の目標値について、他に意見はないか。</p>
E 委員	<p>茨木市と摂津市とでは、ごみ質も分別区分も違うため、単純に按分して茨木市の最終処分量の目標値を出す場合には、正確な数値はでないと思う。最終処分量は、目標値でなく参考値が良いのではないか。家庭系のごみ量については、一人当たりの細かい削減目標が出ているにもかかわらず、最終処分量があまり正確な数値でないのは違和感がある。</p> <p>また、以前に比べ、啓発が進み、ごみの分別状況も良くなっていると感じている。</p>

	<p>摂津市の状況は分からないため、茨木市は茨木市独自の目標で良いのではないかと。</p>
議長	<p>事務局の意見はどうか。</p>
事務局	<p>E委員のご意見のように、はっきりしない数値を参考値とし、搬入量等のはっきりと見える数値のみ目標値とすることは考え方としてありうる。</p>
A委員	<p>フェニックスは、最終処分量に応じて費用が発生するため、摂津市との費用負担のルールができれば、最終処分量の按分の割合も出るのではないかと。</p> <p>最終処分量について、令和元年度、2年度の増加要因と摂津市との広域処理開始による影響が分からないため、目標値については判断できない。具体的に申し上げると、52ページの溶融減量率を5.99パーセントとしていることは正しいのかどうか。31ページで令和2年度の集塵灰固化物が5.7パーセントになっているにもかかわらず、処分量が増えているのも正しい数字なのか分からない。溶融減量率をいくつにしたら良いか分かる情報が記載されていないため、目標値を決めることが大変難しい。</p> <p>先ほどバイオマスチップによって集塵灰が増えたとの話をされたが、そうすると5.7パーセントという数字はどう解釈すればよいのか。整合性はきちんととれているのか。</p> <p>最終処分量の目標値は必要であると考えているが、目標値を決めるに当たってはかなりの検討を要する。</p>
事務局	<p>摂津市との広域処理開始による費用負担については、フェニックスにかかる費用等を個別に按分して算出するわけではなく、処理に係るすべての費用に対し、算出する。</p>
A委員	<p>そのトータル費用の按分比率をもって、最終処分量も按分するしかないのではないかと。</p>
事務局	<p>摂津市から出たと思われるフェニックスへの最終処分量については、摂津市からの搬入量に基づき、按分して出すしかない。</p>
A委員	<p>按分方法よりも、その母数となる最終処分量の見通しが立っていないのではないかと。</p>
事務局	<p>現状、見通しは立ってはいない。令和5年度以降は摂津市の一般廃棄物処理基本計画に基づいた目標値、茨木市と摂津市合計のフェニックスへの搬入量は分かる。摂津市の搬入量を含めた数値を記載し、目標値とすることが適切かどうか、疑問が</p>

	ある。
議 長	茨木市のみで目標値を算出し、茨木市と摂津市合計量を参考値とすることは問題があるか。
事務局	茨木市のみの数値が、広域処理開始後は正確な値では出ないため、参考値とするのか、目標値とするのか、どちらが良いかご審議いただきたい。次回の計画の策定時には改めてどうするか検討する必要があるが、ごみの搬入量が減れば、最終処分量も減少すると考えられるため、今回の見直しに当たっては、最終処分量目標値を参考値とすることも考えられる。
A委員	現行基本計画の目標値はどのようにして決めたのか。
事務局	実際に発生した集塵灰の量から将来の値を推計した。
A委員	溶融減量率は設定していないということか。
事務局	設定していない。
議 長	茨木市と摂津市の合計量から、按分により算出し、茨木市の目標値とする方法で問題ないとする。事務局の意見はどうか。
事務局	そのように修正する。
議 長	他に意見はあるか。 なければ、63 ページから 69 ページについて審議する。何か意見はあるか。
A委員	64 ページの中央辺りに「検討を進めます。」と「検討します。」の表現があるが、違いはあるのか。
事務局	表現は統一する。
	6 その他
議 長	事務局から他に何かあるか。 【各委員への連絡事項の伝達】

<p>議 長</p>	<p>本日の審議会はこれで終了とする。</p> <p>7 閉会</p>
------------	-------------------------------------